

式辞（卒業式）

冬の寒さもようやく和らぎ、春の息吹が感じられる今日のこの佳き日に、来賓として珠州市長 泉谷満寿裕様、飯田高校 PTA 会長 葛原秀史様をはじめ、多数の御来賓並びに保護者の皆様の御臨席のもと、令和六年度卒業証書授与式を挙行できますことは、本校職員一同、この上ない慶びでございます。厚く御礼申し上げます。

また、お子様の成長を見守ってこられた保護者の皆様におかれましては、今日の晴れやかなお子様を前にして感慨もひとしおのことと、拝察いたします。三年間にわたる様々な御支援・御協力に感謝申し上げるとともに、心からお慶び申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました百一名の皆さん、御卒業おめでとうございます。3年前、皆さんは希望を胸にこの飯田高校に入学して努力を重ね、所定の学業を終えました。これは一人ひとりが三年間たゆまぬ努力を積み重ねてきた結果であることは言うまでもありません。心から祝福いたします。

卒業生の皆さんと私の関わりは二年間でしたが、皆さんは常に元気で笑顔があふれている印象があります。登校時や集会時の明るい挨拶がこの校舎に活力をもたらしましたし、地震の時は皆さんに希望を与えないといけない私が逆に皆さんから元気をもらいました。卒業生の皆さんには大変感謝しています。そして、そのように育ててこられた保護者の皆様、これまで関わってこられた保育園や小中学校の先生方、地域の皆様方に敬意を表します。

また、部活動では地震を言い訳にせず、相撲部が卯辰山の全国大会で決勝トーナメントに進出したこと、野球部が二回戦で手に汗握る接戦をものにし三回戦に進出したこと、女子ソフトテニス部やウエイトリフティング部がインターハイに出場したことが、学校や地域に勇気をもたらしました。特に、ウエイトリフティング部はインターハイで団体準優勝するなど、数々の全国大会で優勝や入賞をしました。そんな皆さんの活躍と笑顔が地震による閉塞感・疲労感を吹き飛ばすとともに、後輩の手本となってくれました。ありがとうございます。私事ですが、私は本年三月末を以て退職いたしますが、この最後の年に皆さんに卒業証書を手渡すことができ、光栄に思います。

さて近年、闇バイトによる犯罪が都市圏を中心に多発していますが、なぜこのようなことが横行するようになってしまったのでしょうか。人間は本能的に目の前の利益に飛びつく傾向があり、それを現在志向バイアスといいます。つまり、コツコツとマメに働いて貯蓄するよりも、簡単に得られる利益に釣られてしまうのです。昔からの言い伝えでは、「急がば回れ」や「残り物には福がある」など現在志向バイアスを戒めるものが多くあります。インターネット等の情報を鵜呑みにせず、「そんなうまい話があるわけがない」と一度、自分にブレーキをかけ、疑ってかかる必要があります、そうすることで犯罪への荷担を防ぐことができます。これから一人住まいをする人が多くいると思いますが、自分は自分で守るという意識を持って下さい。

また、これは経済用語ですが、Jカーブ効果という言葉があります。これは効果が現れるまでにタイムラグがあり、短期的には予想される方向とは逆の現象が起こること、或いはもう少し砕けた言い方をすれば、短期的には損をしても、長期的には得をすることです。「損して得取れ」とよく言われますが、そのことです。就職にしろ進学にしろ、このあと、ここが踏ん張りどころだという場面に遭遇することがありますが、「損して得取れ」と自分に言い聞かせ、まずは難局を乗り切りたいと思います。その後、良いことがきっとあるはずです。その頑張りとは「将来の自分への投資」であるとも考えられます。目先の利益にとらわれずに自分のこれからの長い人生を設計して行って欲しいと願っています。

最後に、飯田高校は珠洲市様から、本年度も手厚い御支援・御配慮を受け、生徒の皆さんが活動しやすいように環境が整えられてきました。そこに元気あふれる生徒の皆さんと熱意あふれる先生方が集い、築き上げられています。このような素晴らしい学校の卒業生であることを誇りに、そして感謝の念を持って理想の明星を目指して、成長しつづけてくれることを期待しています。卒業生の大きな飛躍を祈念し、式辞いたします。

令和七年三月三日

石川県立飯田高等学校長 角 秀明